

# 国民健康保険勝浦病院 報告

## AWA ナースサポートセンター事業

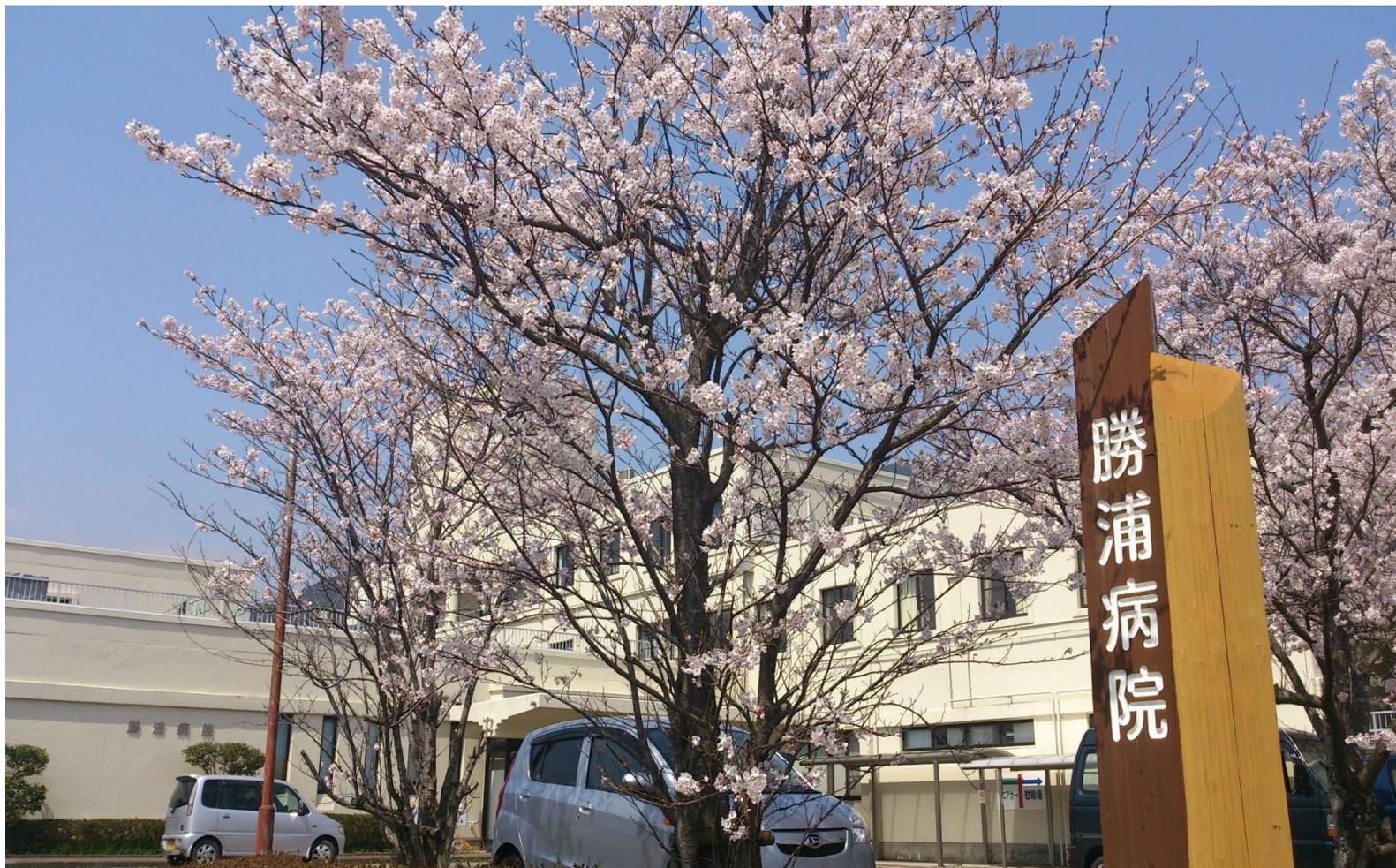
---

2020年2月10日

事業所名 国民健康保険 勝浦病院  
氏名 事務局長 笠木義弘

---

## 春の勝浦病院



## 所在地



## 勝浦町ご紹介



## 貯蔵みかん



### 勝浦貯蔵みかんができるまで・・・

みかんの収穫 11月末～12月末



古田温州・十萬温州みかんがメイン品種  
(古田温州は勝浦町発祥の品種なんです)

みかんの貯蔵 約2ヶ月間



もともと高糖度系の品種を使っており、  
さらに熟成させることで甘さに深みが出ます。

貯蔵みかんの出荷 2月～3月

出荷するときに、厳選された貯蔵み  
かんだけが出荷されます。  
他の産地が終わった頃に出荷されるの  
で、とても重宝されています。

貯蔵みかんが買える地域

現在のところ、徳島県内、阪神、京浜、  
石川県、広島県などで主に販売されて  
います。



## 周辺医療施設



# AWA ナース活用の 背景と目的及び効果

## 背景

当院は町立の急性期病院として 60 床の病床を持ち、勝浦郡の医療需要を支えています  
が、経営状況が思わしくなく、一般会計からの繰り入れも増えている。

経営状況については、町の監査や議会からも指摘を受け、中でも

**「看護部門の充実強化により経営状況の改善を」**

との声が出ている。

看護師である町議会議員から、AWA ナースサポートセンター事業の紹介があり、他病  
院で地域連携室での経験や管理職員（指導的立場）としての経験のある看護師を紹介し  
ていただき、地域連携室に専従として配置し、院内・院外の連携強化に取り組むことと  
した。



# 目的及び効果

## 目 的

患者様がスムーズに当院へ受診・入院できるよう、また当院から退院・転院することができるように、高度急性期医療機関（徳島日赤・徳大病院等）、介護施設をはじめ、役場福祉課や地域包括支援センター等多くの施設をつなぐ役割を担う。

当院と患者様、他機関との連携を深めるため地域連携室が院内連携の推進部署としての役割を持つ。

勝浦病院での地域連携室業務の確立と看護部門の次期リーダーの育成を行う。

## 効果

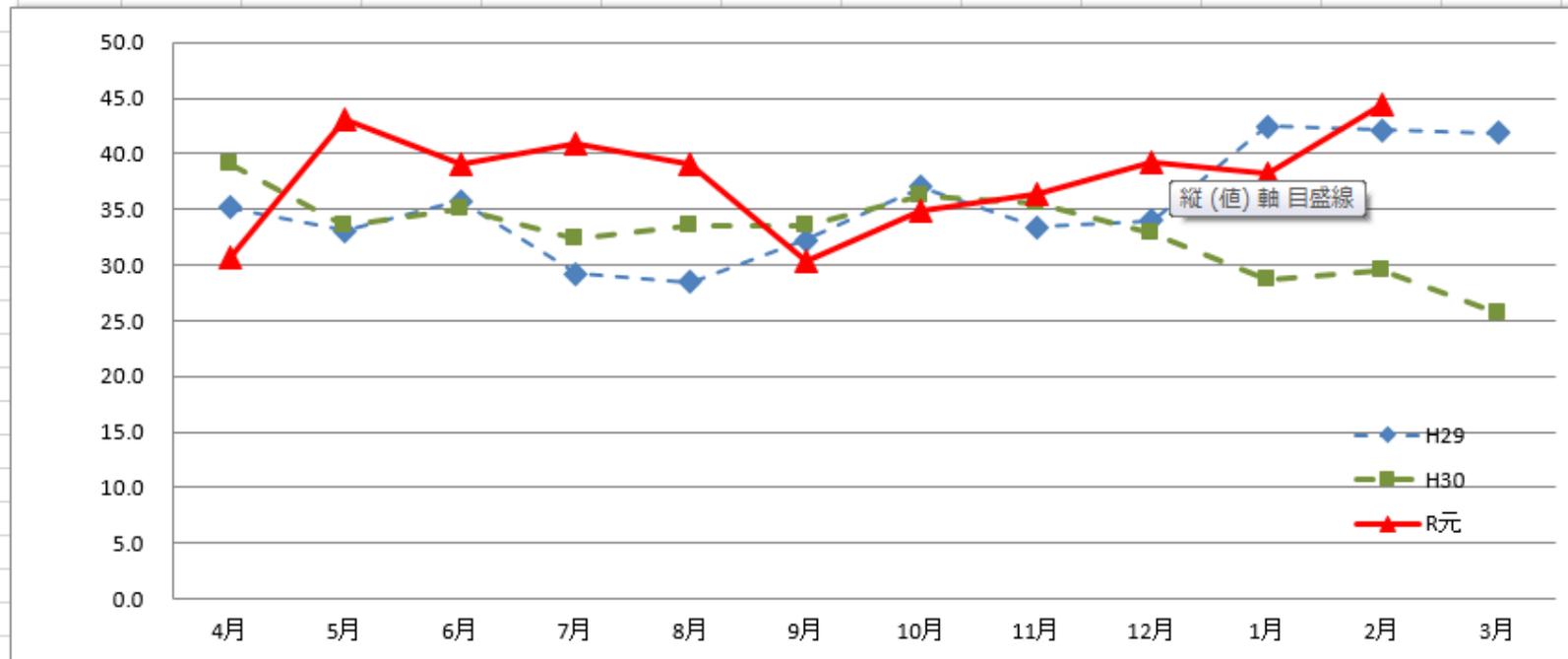
### ①運用面での効果

- ・地域連携機能の窓口を地域連携室に一本化したことにより、勝浦病院での窓口がわかり易くなり、他機関からの紹介が（増えた？）と考える。また、退院患者の介護施設の受け入れがスムーズ（多くなった？）になったと考える。
- ・地域連携窓口看護師（以前は事務局員が兼務）を配置することにより、他機関との患者情報の交換がスムーズになった。
- ・カンファレンスの日程調整などを地域連携室で行うため病棟業務の軽減となっている。

### ②その他の効果

- ・看護部門の管理者経験のある看護師を院内連携の要として配置したことにより、看護師へのアドバイスなどの的確に行ってもらっている。
- ・事務室内に連携室を配置していることで、事務局員の看護師に対する理解が深まりつつある。

月別1日平均入院患者数推移の年度比較



単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H29	35.2	33.1	35.8	29.2	28.5	32.2	37.0	33.4	34.0	42.5	42.1	41.9	35.4
H30	39.1	33.5	35.1	32.4	33.5	33.6	36.3	35.6	32.9	28.6	29.5	25.7	33.0
R元	30.7	43.1	39.0	41.0	39.0	30.3	34.8	36.4	39.3	38.3	44.5		37.8

(R元年2月は1~5日の平均)

# 勝浦病院が新しくなります

令和4年春完成（移転）予定

延床面積	4,137 m <sup>2</sup>
鉄筋コンクリート造	地上3階建て
免震構造	
病床数	50床

ご清聴ありがとうございました

